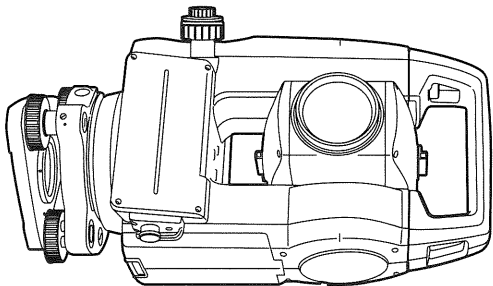


SOKKIA

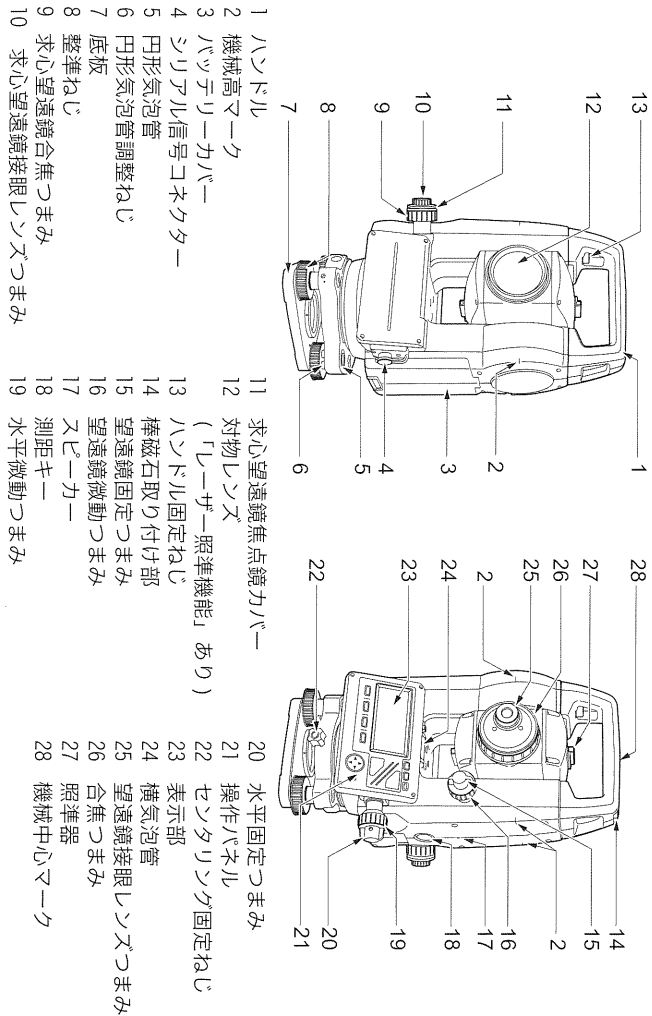
SET255



ケイタックマニュアル

1011447-01-A

各部の名称



電源の ON/OFF

● 電源を ON する

1. 〔 ① 〕 を押します。

2. 機械を整準します。

起動すると電子気泡管が画面に表示されます。画面に表示される気泡管、または機械の気泡管を参考にして整準してください。

3. 〔 確定 〕 を押します。

観測画面を表示して、作業を開始できます。

● 電源を OFF する

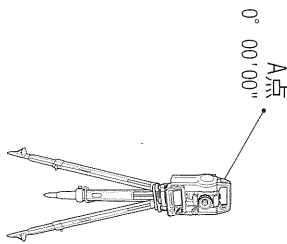
1. 〔 ① 〕 を長押しします。(約 1 秒)

電源 OFF の処理が終わると画面表示が消えます。

角度を測る

1. 第 1 目標 A を視準します。

2. 目標 A の水平角を 0° 00' 00" にセットします。(0 セット) を押します。水平角が 0° になり、点滅表示します。この状態でもう一度 (0 セット) を押すと、目標 A の水平角が 0° に設定されます。



観測	PC	0 ppm	0
斜距離	鉛直角	水平角	0
80° 30' 15"	0° 00' 00"	0° 00' 00"	0

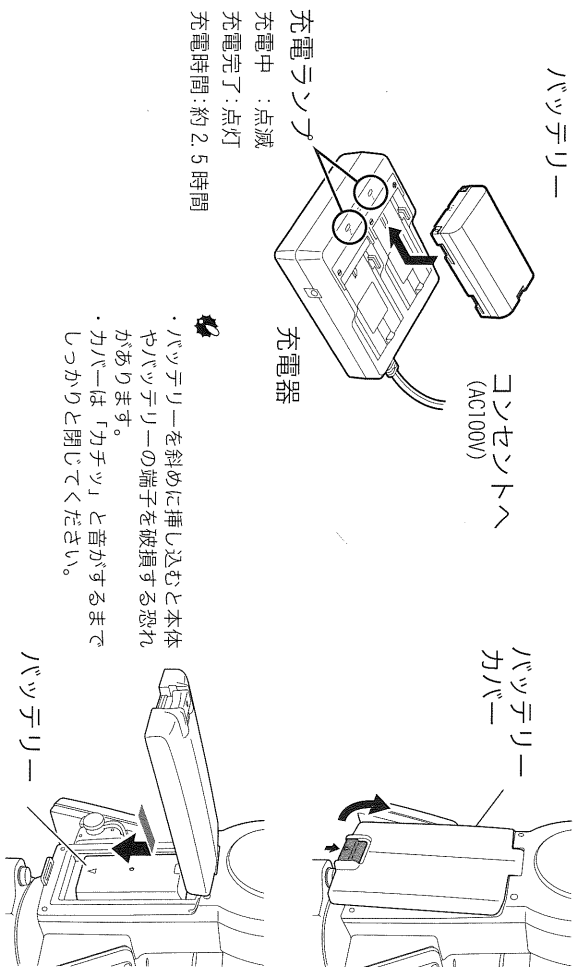
観測	PC	0 ppm	0
斜距離	鉛直角	水平角	0
80° 30' 15"	0° 00' 00"	0° 00' 00"	0

観測	PC	0 ppm	0
斜距離	鉛直角	水平角	0
80° 30' 15"	0° 00' 00"	0° 00' 00"	0

バッテリーの準備

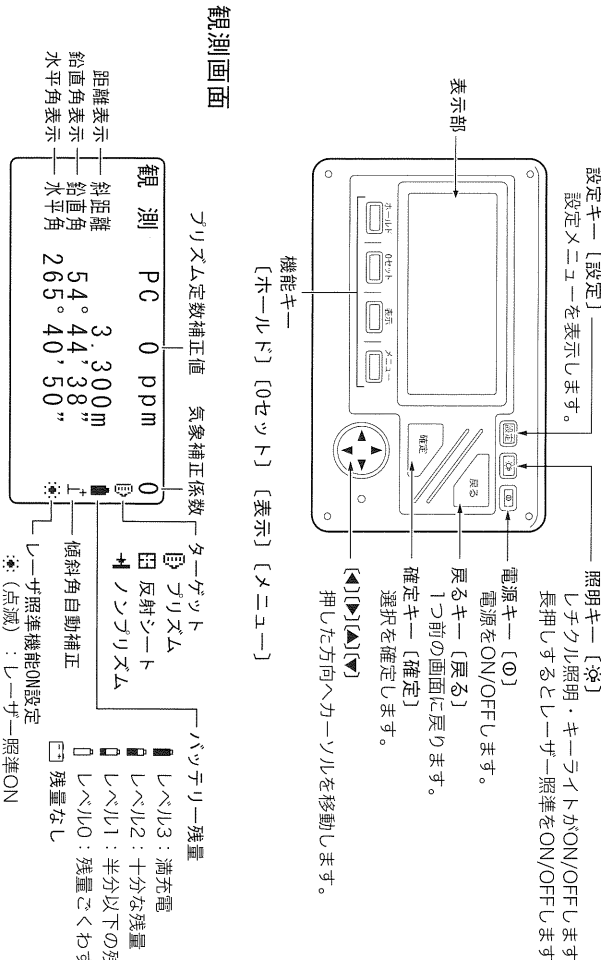
バッテリーを充電する

バッテリーを装着する



操作部とディスプレイの説明

操作パネル部



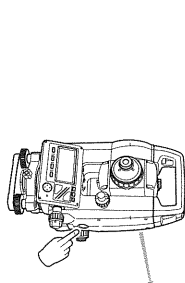
距離を測る

1. ターゲットの中心を視準します。

測定条件にあった設定がされていることを確認してください。

2. 〔 測距 〕 を押します。

距離測定が開始します。測定が完了すると、測定結果を表示します。以後、測定ごとに結果が更新します。



・測定中に (測距) を押すと、測定を中断します。

3. 第 2 目標 B を視準します。

求める B 点の水平角と鉛直角が表示されます。

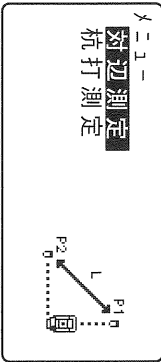


観測	PC	0 ppm	0
斜距離	鉛直角	水平角	0
255.450m	80° 30' 15"	132° 40' 20"	0

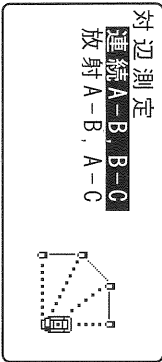
対辺測定：2 点間距離を連続で測定する

原点と各測点のターゲット 2 点間の斜距離、水平距離、高低差を連続して測定します。

1. 対辺測定メニューに入ります。
(メニュー)を押して「対辺測定」を選択し、(確定)を押します。



2. 測定方法を選択します。



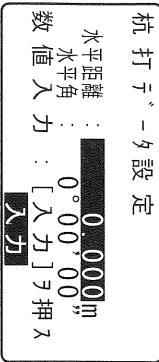
杭打測定：目標点の位置を探す

器械点を原点として目標点の位置をあらかじめ機械に入力し、視準点と目標点の差異を表示させ目標点を探します。

1. 杭打ちメニューに入ります。
(メニュー)を押して「杭打測定」を選択し、(確定)を押します。



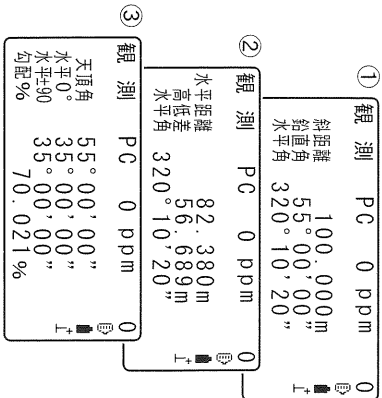
2. 杭打データを設定します。
器械点から目標点までの距離と、基準方向と求める点の水平角(夾角)を入力します。



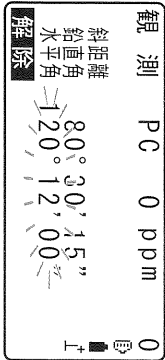
ワンポイント

- 距離と角度の表示方法を変更する
(表示)を押すたびに、表示が切り替わります。

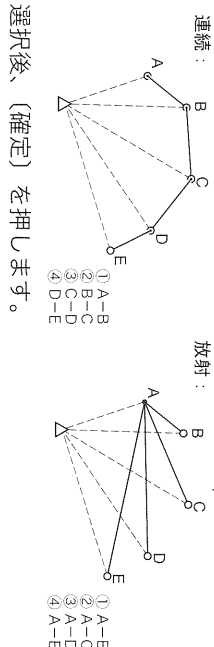
- ①斜距離・鉛直角・水平角
②水平距離・高低差・水平角
③天頂角・水平0°・水平±90°・勾配%



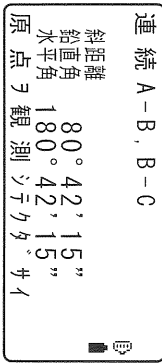
- 表示した角度のまま望遠鏡の向きを変える
観測画面で (ホールド) を押すと、現在の水平角の表示値をホールド (固定) します。ホールド中は、水平角が点滅表示になります。
任意の方向へ望遠鏡を向けたあとに (解除) を押すと、ホールドを解除します。



連続：直前の測定点を原点として距離測定します。
放射：1 点目の測定点を原点として距離測定します。



3. 原点を測定します。
目標点を視準して (測距) を押します。



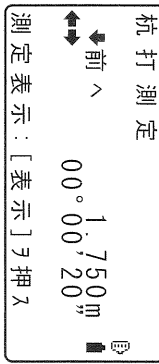
※画面は「連続」を選択したときのものです。

3. [確定]を押して測定を開始します。

4. 水平角の杭打ち測定を行います。
表示されている角度差が0° になるまで機械上部を回転させ、その視線線上にターゲットを設置します。



5. 距離の杭打ち測定を行います。
ターゲットを設置し、(測距)を押して距離測定を行います。



設定の変更

(設定) を押すと設定メニューを表示します。
ここから機械の各設定を変更することができます。
(※：工場出荷時の設定)

観測条件
チャルト表示
気象設定
表示設定
器機設定
器機設定数

観測条件	
測距モード	精密連続※/精密平均 (回数は1〜9 回より選択) /精密単回/高速連続/ 高速単回/トラッキング
ターゲット	プリズム※/シート/ノンプリズム
PC (プリズム定数)	− 99 〜 99 (プリズムΔ、 「シート」 選択時：0 ※) (mm)

● チャルト表示	
チャルト表示	電子気泡管を表示
チャルト補正	プリ※/ナシ

● 気象設定	
気温	− 35 〜 60(15 ※) (℃)
気圧	500 〜 1400 (1013 ※) (hPa)
ppm (気象補正係数)	− 499 〜 499 (0 ※)

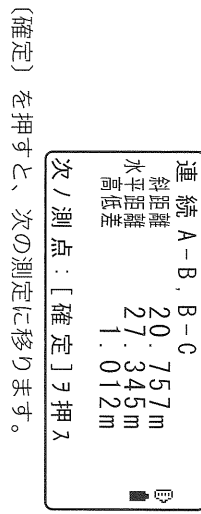
● 表示設定	
コントラスト	0 〜 15 (10 ※) (段階)
レチクル照明	0 〜 5 (3 ※) (段階)
角度表示 (最小角度表示)	10° / 5° ※
水平角方向	右回り※/左回り

● 器機設定	
コリメーション補正	プリ※/ナシ
面差補正	ナシ※/K = 0.142 / K = 0.20
オートパワーオフ	5分/10分/15分/30分/ナシ※

4. 2 点目を測定します。
次の目標点を視準して (測距) を押します。



原点と目標点との間の斜距離、水平距離、高低差が表示されます。



(確定) を押すと、次の測定に移ります。

対辺測定を終了するには、観測画面が表示されるまで (戻る) を押してください。

本機で表示される警告・エラーメッセージと、その原因を示します。同じ表示が繰り返し表示される場合や下記以外の表示がでた場合は、機械の故障が考えられます。最寄りの営業担当へご連絡ください。

オーバーレンジ

勾配%表示の際、表示範囲 (± 1000%未満) を越えた。

温度範囲外

本機の温度が使用温度範囲外のため正しく測定できません。
適正な温度にして再度測定してください。直射日光が本機に当たっている場合は、傘などで日光を遮ってください。

視準エラー

大気の変化やぶいなど、測定環境が悪い。
ターゲットの中心を視準できていない。
ターゲットを視準し直してください。

信号ナシ

測定環境が悪く、距離測定に必要な反射光量がない。
ターゲットを視準し直してください。

受光エラー

ノンプリズム設定時で距離測定の場合が悪い。ノンプリズム設定時で測距光が同時に 2 つ以上の面に当たっているため距離測定ができない。
同一面に測距光が当たるような部分を、ターゲット面として選択してください。

タイムアウト

測定環境が悪く、距離測定に必要な反射光量が少ないため、一定時間内に距離測定ができなかった。
ターゲットを視準し直してください。また、反射プリズムをお使いの場合は反射プリズムの数を増やすと効果的です。

チャルトオーバーレンジ
測定中、機械の傾きが傾斜角補正の範囲を越えた。
整準し直してください。

通信エラー
外部機器の通信設定を見直してください。